



インターネットが登場してからコンピュータの技術は、パソコンのアプリケーション利用から急速に姿を変え、インターネットを基盤としたネットワークコミュニケーションを中心としたものが主役になってきています。パソコン上のアプリケーション利用から、スマートフォン、タブレットコンピュータで容易にアクセスできる環境は、新しい文化も作り出しています。本講座は、誰もが利用できるようになってきた新しい情報科学についてコンピュータの実習を交えて、その活用についてみんなで考えていきます。

主催： 高等教育コンソーシアム久留米
 共催： SOHO 筑後川
 会場： サテライト・キャンパス PC研修室
 久留米市六ツ門 3-11 くるめりあ六ツ門 6F
 定員： 30名 (先着順)
 申し込み先： 高等教育コンソーシアム久留米
 サテライト・キャンパス事務室
 久留米市六ツ門 3-11 くるめりあ六ツ門 6F

講演会日程および概要

第1回 12月7日(水) 18:30~20:30 WEBネットワーク技術の最近の動向

講師：佐塚秀人(久留米工業大学 情報ネットワーク工学科)

GoogleがGoogle MapやGMailを公開してから、WEBを利用したさまざまなサービスが提供されるようになりました。それらのサービスは、大規模なデータセンターネットワークの中に分散して動くようになり、それを表すクラウドコンピューティングという言葉も定着してきています。今回の講座の第1回目は、最近のWEB技術について解説をし、実際の技術の一部をパソコン環境を使って体験してもらいます。

利用ソフト：WEBブラウザ (Firefox, Chrome, Safari, Operaなどを比較)、jQueryライブラリ

第4回 1月11日(水) 18:30~20:30 人工知能技術の歩み

講師：小路口心二(久留米工業大学 情報ネットワーク工学科)

人工知能技術(人間の知能をコンピュータプログラムで実現する手法)について紹介します。人工知能の要素技術である簡単な知識表現から、実際に我々の身近で活用されているエキスパートシステムやニューラルネットワークについて時代の流れを追って解説し、最近の人工知能関連のトピックスを紹介します。コンピュータを使用した簡単なデモを行いながら解説を行う予定です。

利用ソフト：WEBブラウザ

第2回 12月17日(土) 13:30~16:30 WEBの新しい技術HTML5を知る —HTML5のCanvasとSVG—

講師：山田貴裕(久留米工業大学 情報ネットワーク工学科)

本講座の2回目は、WEBの記述言語であるHTMLの最新技術HTML5にスポットをあて、特にその中のグラフィックス技術であるCanvasとSVGについて解説し、実習を通してその利用について学んでいきます。CanvasとSVGはどちらもWEB上のグラフィック機能でありながら、その考え方や利用方法も異なります。両者を比較しながらその今後の利用について考えていきます。

利用ソフト：WEBブラウザ、テキストエディタ

第5回 1月18日(水) 18:30~20:30 情報検索あれこれ —自然言語処理技術の応用を中心として—

講師：高橋雅仁(久留米工業大学 情報ネットワーク工学科)

1995年のWindows95の登場以降、WWW上での情報蓄積が爆発的に増え、情報検索技術の重要性がますます高まっています。Googleのような検索サイトで、キーワードの入力によって興味のある情報が載っているようなWWWサイトを探す方法は、検索方法としてまだ不十分であり、今後は、質問を入力すると、的確な答えを返してくれるようなより知的な検索技術が必要になってくると思われます。本セミナーでは、情報検索の基本となる自然言語処理技術の応用という観点から最近の情報検索に関するトピックを紹介するとともに最新の情報検索技術を実際に体験していただきます。

利用ソフト：WEBブラウザ

第3回 1月7日(土) 13:30~16:30 Processing.jsを用いたWEB上の グラフィックスプログラミング

講師：吉田清明(久留米工業大学 情報ネットワーク工学科)

ビジュアルデザインやインタラクションデザインなどのためのオープンソースプログラミング環境としてProcessingが知られています。本講座の3回目は、Processingの機能の一部をHTML5およびJavascriptで実装したJavascriptライブラリProcessing.jsを用いて、最新WEBブラウザで手軽に楽しめるグラフィックスプログラミングを紹介します。

利用ソフト：WEBブラウザ、テキストエディタ、Processing.jsライブラリ

第6回 1月28日(土) 13:30~16:30 デジタルデザイン入門

講師：河野 央(久留米工業大学 情報ネットワーク工学科)

私たちは、デジタル情報をモニターを介して操りながらデジタルライフを送っています。そこでは、コンピュータからの視覚情報が重要な役割を担っています。近年、一般の人々がメディアや情報を作りだすことが、デジタルライフでは当たり前のことになってきました。モニターに映し出される情報には「見やすい・楽しい・美しい」という要素が重要です。私たち一人ひとりがこの要素を兼ね備えたデジタル情報を世界に発信できることを目指して、この講座ではコンピュータでのデザインに取り組みます。

利用ソフト：InkScape